

景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

Webによる無記名アンケート方式
調査時点 令和5年6月9日発送
令和5年6月23日回答期限
調査対象 信用保証利用先3,000企業
有効回答数 409 企業(回答率 13.6%)

※ 当期: R05年4月～6月実績見込
次期: R05年7月～9月期予測

【DI値について】

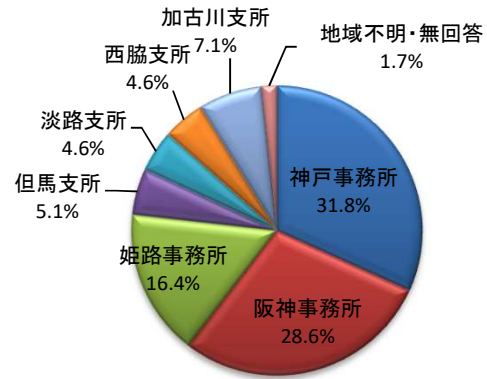
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

I. 貴社の概要について

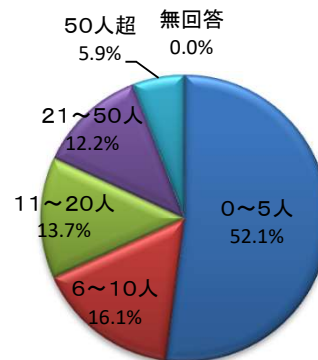
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	130	31.8%
阪神事務所	117	28.6%
姫路事務所	67	16.4%
但馬支所	21	5.1%
淡路支所	19	4.6%
西脇支所	19	4.6%
加古川支所	29	7.1%
地域不明・無回答	7	1.7%
合計	409	100.0%



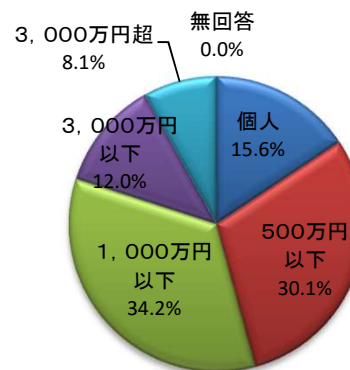
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	213	52.1%
6～10人	66	16.1%
11～20人	56	13.7%
21～50人	50	12.2%
50人超	24	5.9%
無回答	0	0.0%
合計	409	100.0%



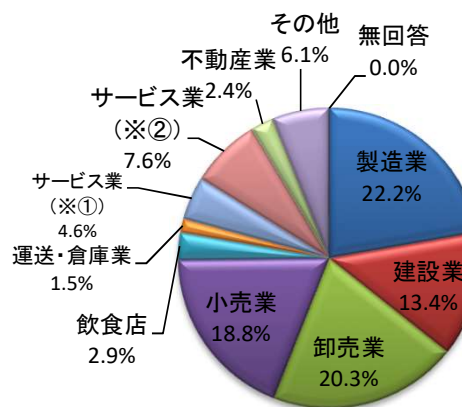
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	64	15.6%
500万円以下	123	30.1%
1,000万円以下	140	34.2%
3,000万円以下	49	12.0%
3,000万円超	33	8.1%
無回答	0	0.0%
総計	409	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	91	22.2%
建設業	55	13.4%
卸売業	83	20.3%
小売業	77	18.8%
飲食店	12	2.9%
運送・倉庫業	6	1.5%
サービス業(※①)	19	4.6%
サービス業(※②)	31	7.6%
不動産業	10	2.4%
その他	25	6.1%
無回答	0	0.0%
合計	409	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(23年4~6月期)は、前期(23年1~3月期)に比べどのような状況ですか。
 (2) 次期(23年7~9月期)は、当期(23年4~6月期)に比べどう思いますか。

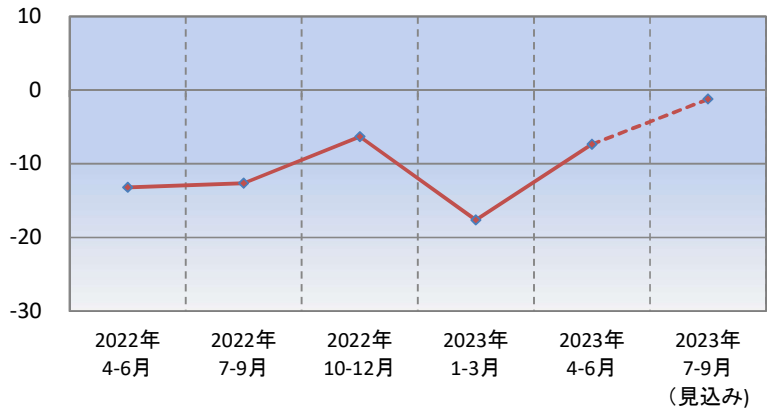
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	112	27.4%
変わらない	155	37.9%
減少した	142	34.7%
無回答	0	0.0%
総計	409	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	105	25.7%
変わらないと思う	194	47.4%
減少すると思う	110	26.9%
無回答	0	0.0%
総計	409	100.0%



生産・売上DI(増加-減少)

調査時期(実績)	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月 (見込み)
兵庫県	▲ 40.9	▲ 34.2	▲ 20.4	▲ 38.8	▲ 13.2	▲ 12.6	▲ 6.3	▲ 17.6	▲ 7.3	▲ 1.2

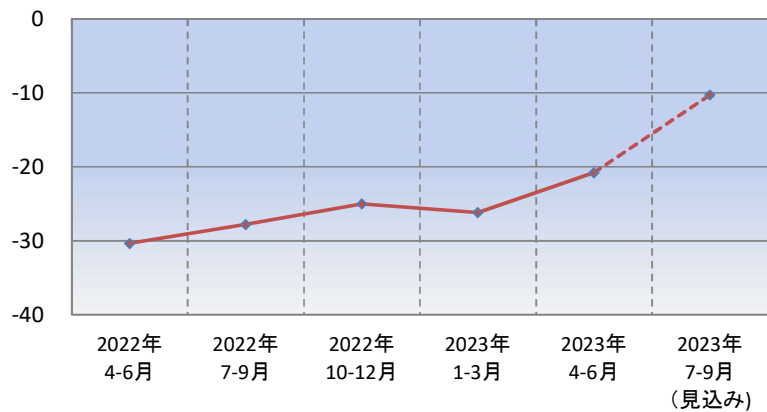
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	61	14.9%
変わらない	202	49.4%
悪化した	146	35.7%
無回答	0	0.0%
総計	409	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	70	17.1%
変わらないと思う	227	55.5%
悪化すると思う	112	27.4%
無回答	0	0.0%
総計	409	100.0%



採算DI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月 (見込み)
兵庫県	▲ 40.3	▲ 36.2	▲ 27.8	▲ 45.4	▲ 30.3	▲ 27.8	▲ 25.0	▲ 26.2	▲ 20.8	▲ 10.3

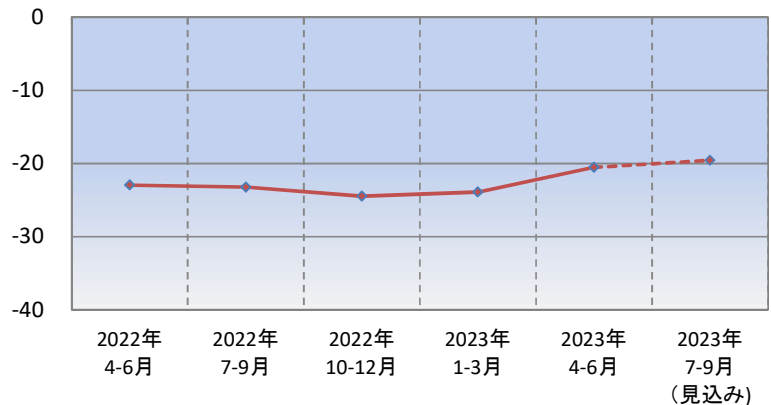
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	36	8.8%
変わらない	253	61.9%
悪化した	120	29.3%
無回答	0	0.0%
総計	409	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	36	8.8%
変わらないと思う	257	62.8%
悪化すると思う	116	28.4%
無回答	0	0.0%
総計	409	100.0%



資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月 (見込み)
兵庫県	▲ 28.1	▲ 25.0	▲ 20.4	▲ 32.8	▲ 23.0	▲ 23.2	▲ 24.5	▲ 23.9	▲ 20.5	▲ 19.6

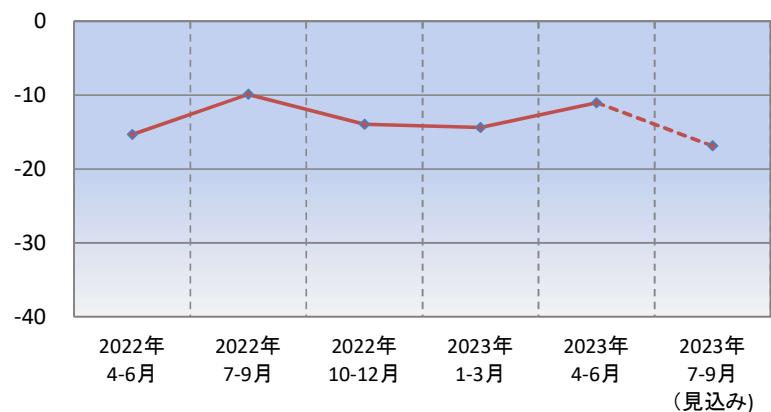
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	22	5.4%
変わらない	320	78.2%
難しくなった	67	16.4%
無回答	0	0.0%
総計	409	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	21	5.1%
変わらないと思う	298	72.9%
難しくなると思う	90	22.0%
無回答	0	0.0%
総計	409	100.0%



借入難易感DI(容易-難しい)

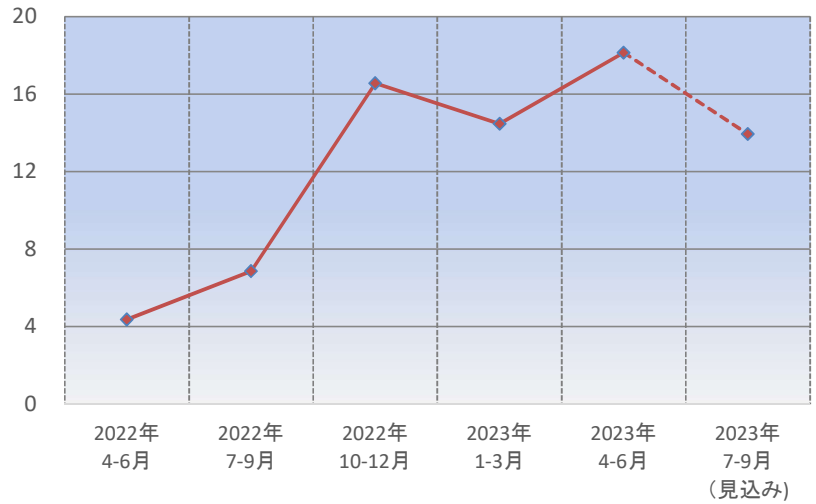
調査時期(実績)	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月 (見込み)
兵庫県	▲ 14.4	▲ 14.1	▲ 11.1	▲ 14.1	▲ 15.3	▲ 9.9	▲ 13.9	▲ 14.4	▲ 11.0	▲ 16.9

当期(4-6月)のDI値については、前期(1-3月)に比べ、全ての項目において改善しました。次期(7-9月)のDI値については、当期(4-6月)に比べ、「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目において改善し、「借入難易感」の項目において悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	84	20.5%
変わらないと思う	298	72.9%
弱まると思う	27	6.6%
無回答	0	0.0%
総計	409	100.0%



信用保証付要請DI (強まる-弱まる)										
調査時期 (見込み)	2021年 1~3月 (4~6月)	2021年 4~6月 (7~9月)	2021年 7~9月 (10~12月)	2021年 10~12月 (1~3月)	2022年 1~3月 (4~6月)	2022年 4~6月 (7~9月)	2022年 7~9月 (10~12月)	2022年 10~12月 (1~3月)	2023年 1~3月 (4~6月)	2023年 4~6月 (7~9月)
兵庫県	7.8	3.6	1.8	3.9	4.4	6.9	16.6	14.5	18.1	13.9

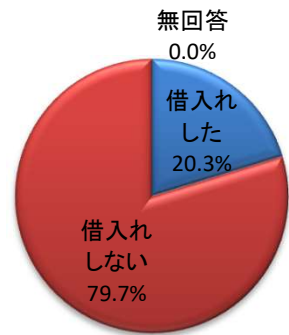
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ.当期(23年4～6月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

選択肢	23年4～6月期		23年1～3月期	22年10～12月期	22年7～9月期	22年4～6月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	83	20.3%	16.9%	22.9%	24.6%	18.7%
借入れしない	326	79.7%	83.1%	77.1%	75.4%	77.6%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%
総計	409	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

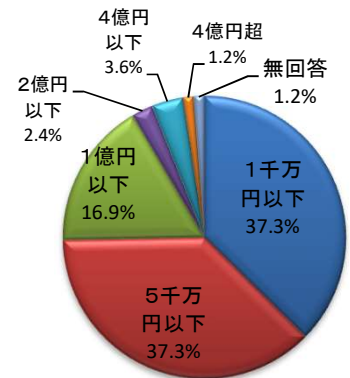
当期の借入れは、前期と比べ、3.4ポイント増加しています。



当期に借入れした総額はいくらですか。

借入れ総額	23年4～6月期		23年1～3月期	22年10～12月期	22年7～9月期	22年4～6月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	31	37.3%	35.8%	35.6%	35.5%	38.0%
5千万円以下	31	37.3%	43.3%	42.5%	44.9%	35.2%
1億円以下	14	16.9%	9.0%	9.2%	14.0%	18.3%
2億円以下	2	2.4%	10.4%	4.6%	3.7%	2.8%
4億円以下	3	3.6%	0.0%	4.6%	1.9%	1.4%
4億円超	1	1.2%	1.5%	3.4%	0.0%	2.8%
無回答	1	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%
総計	83	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

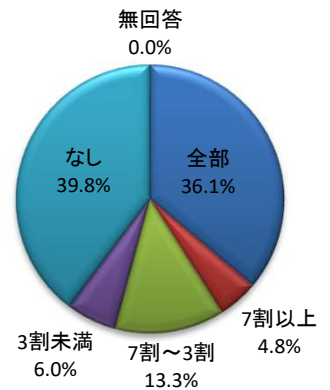
当期の借入総額は「1千万円以下」「5千万円以下」の合計が74.6%となり、構成比の大半を占めています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

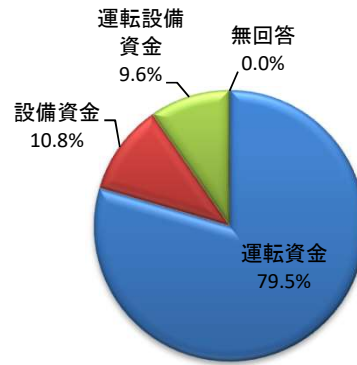
選択肢	23年4～6月期		23年1～3月期	22年10～12月期	22年7～9月期	22年4～6月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	30	36.1%	46.3%	36.8%	32.7%	25.4%
7割以上	4	4.8%	7.5%	11.5%	3.7%	14.1%
7割～3割	11	13.3%	7.5%	11.5%	15.0%	12.7%
3割未満	5	6.0%	6.0%	9.2%	7.5%	5.6%
なし	33	39.8%	32.8%	31.0%	41.1%	38.0%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%
総計	83	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合は「なし」とする回答が最も多く占めているものの、「全部」とする回答が次いで多くなっています。



当期借入金の目的は何ですか。

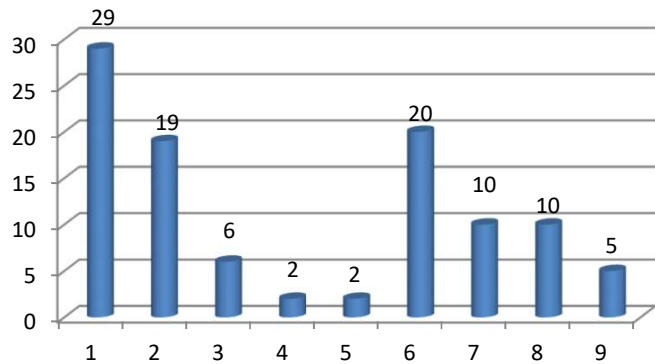
選択肢	回答数	構成比
運転資金	66	79.5%
設備資金	9	10.8%
運転設備資金	8	9.6%
無回答	0	0.0%
総計	83	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

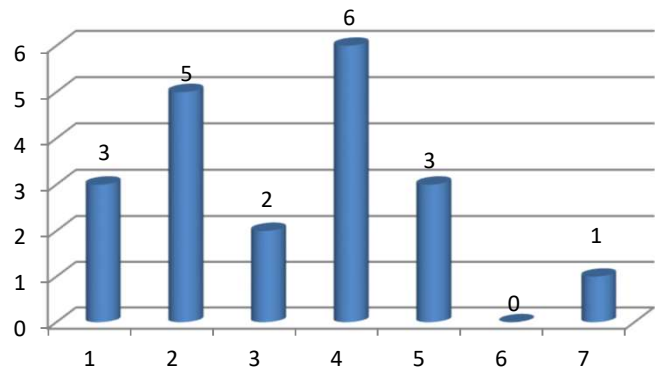
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	29
2 売上減少・赤字補填	19
3 過剰在庫対応	6
4 支払条件短縮対応	2
5 回収条件悪化対応	2
6 売上増加運転資金	20
7 在庫積み増し	10
8 季節運転資金	10
9 その他	5
総計	103



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が一番多く、次いで「売上増加運転資金」「売上減少・赤字補填」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

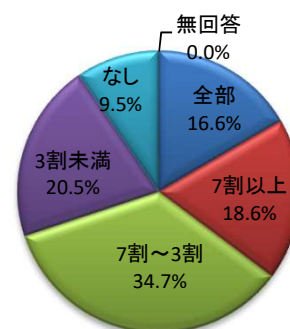
選択肢	回答数
1 新規事業	3
2 生産増強	5
3 合理化・効率化	2
4 設備老朽化に伴う入替	6
5 修理・修繕	3
6 公害防止・環境関連	0
7 その他	1
総計	20



設備資金の種類は、「設備老朽化に伴う入替」が一番多く、次いで「生産増強」「新規事業」「修理・修繕」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(23年6月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

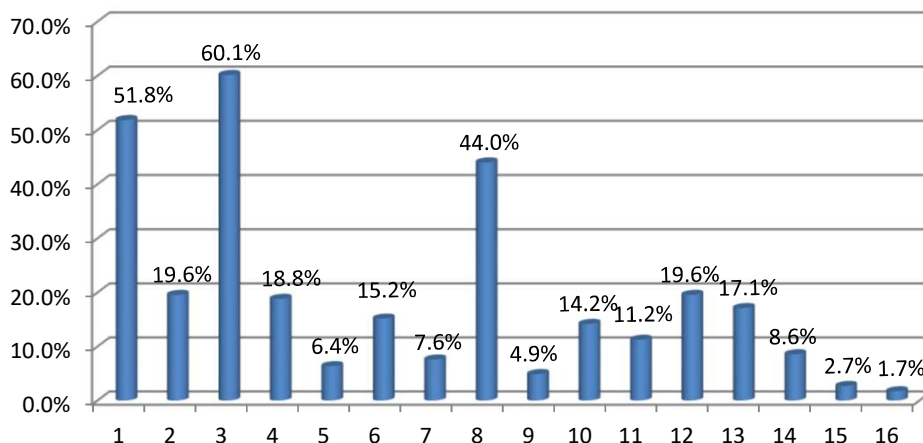
選択肢	23年4～6月期		23年1～3月期	22年10～12月期	22年7～9月期	22年4～6月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	68	16.6%	17.1%	15.8%	17.5%	18.7%
7割以上	76	18.6%	19.6%	21.6%	23.0%	23.0%
7割～3割	142	34.7%	31.7%	32.6%	31.7%	32.2%
3割未満	84	20.5%	24.2%	19.5%	20.0%	16.1%
なし	39	9.5%	7.3%	10.5%	7.8%	5.0%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%
総計	409	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「7～3割」「なし」とする回答が増加し、「全部」「7割以上」「3割未満」とする回答が減少しました。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	212	51.8%	9 過剰在庫	20	4.9%
2 競争激化	80	19.6%	10 設備投資	58	14.2%
3 コスト高	246	60.1%	11 後継者難	46	11.2%
4 業界構造変化	77	18.8%	12 資金調達	80	19.6%
5 取引条件の悪化	26	6.4%	13 借入過多	70	17.1%
6 消費者ニーズの多様化	62	15.2%	14 為替	35	8.6%
7 技術・商品開発	31	7.6%	15 海外景気の減速	11	2.7%
8 人材・労働力の確保	180	44.0%	16 その他	7	1.7%



経営上の課題については、「コスト高」「売上・受注の減少」「人材・労働力の確保」が上位となっています。
 次いで、「競争激化」「資金調達」「業界構造変化」の順となっています。

